



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社 昭和真空
コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	852	4.2	101		112		95	
2024年3月期第1四半期	889	51.0	177		162		117	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 6百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 91百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	15.45	
2024年3月期第1四半期	19.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	13,814	10,969	79.4	1,779.96
2024年3月期	14,334	11,397	79.5	1,849.71

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,969百万円 2024年3月期 11,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		70.00	70.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00		70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,329	2.0	87		70		73		11.85
通期	9,105	22.0	369	88.4	411	68.6	264	60.7	42.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	6,499,000 株	2024年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	336,449 株	2024年3月期	336,949 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	6,162,218 株	2024年3月期1Q	6,159,584 株

2025年3月期1Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式65,800株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年6月30日)における世界経済は、地政学的緊張の高まりによる物価高騰、インフレ持続による金融引き締め継続による経済活動停滞、不動産不況長期化による中国経済減速など不安定要素を抱えつつも、大幅な減速を回避し、緩やかながらも成長軌道を確保しております。

わが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策効果もあり緩やかな回復が続いていますが、欧米における高金利継続の影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、日本企業の電子部品世界出荷額は前年比で増加傾向にあり、主要取引先電子部品メーカーにおいては、在庫調整が一巡し生産設備稼働率は回復基調となっておりますが、全体的には本格的な増産設備投資には至らない状況で推移しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル成膜依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組みました。この結果、海外光学メーカーより前年度第4四半期に続き大口受注を獲得しました。

生産面では、期初受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しが発生し、売上に影響しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は36億25百万円(前年同四半期比340.3%増)、売上高は8億52百万円(同4.2%減)となりました。損益につきましては、経常損失1億12百万円(前年同四半期は1億62百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失95百万円(前年同四半期は1億17百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は30億33百万円(前年同四半期比666.6%増)、売上高は3億25百万円(同31.1%減)、セグメント損失は60百万円(前年同四半期は27百万円の損失)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあることや自動車向け水晶デバイス市場が成長していることなどをを受け、デバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。売上に関しては、顧客事情による装置仕様変更や出荷前検査に時間を要したことなどにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は3億49百万円(前年同四半期は2億84百万円のマイナス)、売上高は1億2百万円(前年同四半期比63.0%減)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンを含む最終製品の需要回復が緩やかであることなどをを受け、デバイスメーカーの設備投資は市場全体では低調に推移しましたが、海外メーカーより前年度第4四半期に続きスマートフォンのカメラレンズに係る増産設備として大口受注を獲得しました。売上に関しては、顧客の設備導入準備遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は20億96百万円(前年同四半期比2526.1%増)、売上高は12百万円のマイナス(前年同四半期は69百万円)となりました。売上高がマイナスとなった理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整によるものです。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努めました。売上に関しては、顧客の設備導入準備遅延により納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は5億86百万円（前年同四半期比2.3%減）、売上高は2億36百万円（同85.6%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めた結果、複数社で消耗品の大口売上がありました。

サービス事業の受注高は5億92百万円（前年同四半期比38.4%増）、売上高は5億26百万円（同26.1%増）、セグメント利益は1億44百万円（同80.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は100億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億97百万円減少しました。これは主に仕掛品が5億51百万円増加したものの、売掛金が7億77百万円、現金及び預金が2億63百万円減少したことによるものです。固定資産は37億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。これは主に減価償却により建物及び構築物が18百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は138億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億20百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は17億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1億60百万円増加したものの、賞与引当金が1億3百万円、電子記録債務が65百万円、未払費用が38百万円減少したことによるものです。固定負債は10億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。これは主に長期リース債務が1百万円減少したものの、退職給付に係る負債が9百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は28億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は109億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少しました。これは主に利益剰余金が5億31百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は79.4%（前連結会計年度末は79.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日付「2024年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355,778	5,092,387
受取手形	571,946	568,148
売掛金	2,438,874	1,661,553
商品及び製品	1,550	1,093
仕掛品	1,576,022	2,127,057
原材料及び貯蔵品	517,186	461,281
その他	97,697	150,603
貸倒引当金	△1,814	△1,932
流動資産合計	10,557,240	10,060,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	941,024	922,985
機械装置及び運搬具(純額)	68,478	70,059
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	3,945	-
その他(純額)	113,829	102,446
有形固定資産合計	3,097,841	3,066,053
無形固定資産		
リース資産	3,015	2,692
その他	68,057	68,023
無形固定資産合計	71,073	70,715
投資その他の資産		
投資有価証券	361,043	357,514
繰延税金資産	168,591	182,278
退職給付に係る資産	56,314	55,089
その他	23,078	22,574
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	608,747	617,177
固定資産合計	3,777,662	3,753,946
資産合計	14,334,902	13,814,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,648	545,543
電子記録債務	663,191	597,345
リース債務	10,529	9,219
未払費用	203,638	164,951
未払法人税等	11,707	9,224
前受金	213,328	212,051
賞与引当金	148,280	44,830
役員賞与引当金	16,000	-
製品保証引当金	58,000	56,000
工事損失引当金	-	10,100
その他	175,008	136,169
流動負債合計	1,884,333	1,785,435
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	18,579	16,768
退職給付に係る負債	358,935	368,616
株式給付引当金	49,793	48,926
長期末払金	75,282	75,277
固定負債合計	1,052,591	1,059,588
負債合計	2,936,924	2,845,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,225,128	5,693,910
自己株式	△313,430	△312,736
株主資本合計	10,882,608	10,352,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203,420	218,396
為替換算調整勘定	301,172	388,694
退職給付に係る調整累計額	10,776	9,943
その他の包括利益累計額合計	515,370	617,033
純資産合計	11,397,978	10,969,117
負債純資産合計	14,334,902	13,814,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	889,940	852,245
売上原価	659,037	563,438
売上総利益	230,902	288,806
販売費及び一般管理費	408,428	390,531
営業損失(△)	△177,526	△101,724
営業外収益		
受取利息	3,166	2,801
受取配当金	60	60
受取賃貸料	517	534
補助金収入	2,387	—
為替差益	9,078	10,523
その他	1,205	778
営業外収益合計	16,416	14,699
営業外費用		
支払利息	600	315
支払保証料	380	382
組合投資損失	—	24,703
その他	155	147
営業外費用合計	1,136	25,550
経常損失(△)	△162,245	△112,575
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,255	△112,575
法人税、住民税及び事業税	1,944	1,845
法人税等調整額	△46,286	△19,187
法人税等合計	△44,341	△17,341
四半期純損失(△)	△117,913	△95,233
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△117,913	△95,233

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△117,913	△95,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,534	14,975
為替換算調整勘定	17,286	87,521
退職給付に係る調整額	71	△833
その他の包括利益合計	26,893	101,663
四半期包括利益	△91,019	6,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,019	6,429

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は91,958千円、66,300株、当第1四半期連結会計期間末は91,264千円、65,800株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	472,303	417,636	889,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,628	—	1,628
計	473,932	417,636	891,568
セグメント利益	△27,466	79,892	52,445

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,445
セグメント間取引消去	7,604
全社費用(注)	△237,576
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△177,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	325,650	526,594	852,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,081	28	2,110
計	327,732	526,623	854,356
セグメント利益	△60,913	144,298	83,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	83,384
セグメント間取引消去	10,655
全社費用(注)	△195,764
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△101,724

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	71,867千円	42,428千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	275,878	86,901	362,780
光学	69,189	133,311	202,500
電子部品	127,235	159,577	286,812
その他	—	37,846	37,846
顧客との契約から生じる収益	472,303	417,636	889,940
外部顧客への売上高	472,303	417,636	889,940

当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	102,045	93,306	195,351
光学	△12,594	187,701	175,106
電子部品	236,200	213,752	449,952
その他	—	31,834	31,834
顧客との契約から生じる収益	325,650	526,594	852,245
外部顧客への売上高	325,650	526,594	852,245

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	102,045	37.0
光学装置	△12,594	△18.2
電子部品装置	236,200	185.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	325,650	68.9
サービス事業		
改造工事	95,530	125.3
部品販売	322,597	134.3
修理・その他	107,595	107.7
サービス事業計	525,724	126.3
合計	851,375	95.8

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	349,995	△123.0	1,372,288	84.7
光学装置	2,096,606	2,626.1	4,145,216	269.3
電子部品装置	586,571	97.7	1,205,896	74.0
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	3,033,172	766.6	6,723,401	140.4
サービス事業				
改造工事	160,947	186.4	878,547	128.0
部品販売	323,468	134.0	—	—
修理・その他	107,595	107.7	—	—
サービス事業計	592,011	138.4	878,547	128.0
合計	3,625,184	440.3	7,601,948	138.8

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	102,045	37.0
光学装置	△12,594	△18.2
電子部品装置	236,200	185.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	325,650	68.9
サービス事業		
改造工事	95,530	125.3
部品販売	323,468	134.0
修理・その他	107,595	107.7
サービス事業計	526,594	126.1
合計	852,245	95.8

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。